

令和6年度第2回学校運営協議会記録

日時 令和6年7月16日(火) 15:00～16:30
場所 多摩市立永山小学校 2階 家庭科室
司会 教務主幹 青木 ・石川会長
参加者 石川会長 富岡副会長 秋間委員 太田委員 榎原委員 針尾委員 岡田委員
校長 副校長 青木 佐宗 久我 佐内 石川
記録 CS 担当佐内

1 校長挨拶より一部抜粋

日ごろから温かいご支援ありがとうございます。スポーツテストや梅取りなどお世話になりました。皆様にも飲んでいただければと思います。6年生は、移動教室後に頼もしくなった。1年生は、救急車を呼んで対応する件があった。暑い日が続く熱中症を心配したが、病院からはすぐに帰宅できた。熱性痙攣だった。処置が早くて良かった。4年生は、ごみ拾いに行き、永山南公園に捨ててあった使用済みの医療針を触ってしまい、病院に行った。警察にも連絡をして、対応した。ごみなど素手で触らないよう指導した。2年生の学級で落ち着きがない様子が見られたので、複数の目で見られるように、学校体制で見守って教室に入れるようにしている。わかくさ学級の宿泊行事は、43名参加してバスで行く。夏休み中もラジオ体操や花火大会など地域で行事があり、地域で大切にされている、お世話になっていることが感じられるのではないかと。

2 内容

(1) 八ヶ岳移動教室(6年)での取組について(久我主任教諭)

スライドで紹介。校長先生から自立・自律・友情と3つのキーワードをもらった。湿度も高くなく、気持ちの良い山登りができた。ごみの確認や時間を見て自分たちで声を掛け合って行動する姿が見られた。施設の中でも、司会も自分たちで進めて教員が前に出ることはなく行動していた。火の起こし方では、理科の学習を思い出して試行錯誤をしながら協力していた。肉は、焼きそば用やバーベキュー用に分けたり、得意不得意により野菜の切り方を考えたりしていた。林業体験では、10人くらいで一本の丸太を切り倒し、細かくしていくことに挑戦し、森を守る大変さを感じていた。自分たちで考えて作り上げる八ヶ岳移動教室を目指して、活動内容、

班の組み方、食事内容、バスの座席を決めた。活動内容は、選択肢からメリットとデメリットを示して、自分たちにあったメニューを選んでいった。キャンプファイヤーは、今までの流れを渡して、どこをオリジナルにするか話し合った。決めたことをやり抜くことが思い出になることを感想にも書けていて、良い移動教室になった。

(2) 6月のふれあい月間（いじめ調査の結果）について（佐宗主任教諭）

アンケートの結果について報告。いじめ認知件数とその中で、社会通念上のいじめ（故意によるもの）に分けて整理した。良くない行為で続けてほしくないものに関して一つずつ話をよく聞いて指導をしている。自分の思いを誤った方法で表現する児童には丁寧に対応をしていく。多くの目で児童を見取り、早期発見につなげていく。

(3) 地域学校協働活動推進員との連携・3年生の取組（石川主任教諭）

コスモス「永山小のいいところ」で連携を深めている。人についてあげる児童が多い。また、自然や施設に目を向けた意見もあった。児童の興味を見取っていくと、梅の実の収穫をしてシロップ作りをしたいという流れになった。いいところを伝える視点から、おうちの人にレシピブックを伝えたり、お世話になった人に渡したりすることになり、梅シロップ作りをした。まとめの学習では、永山小から永山地区へ目を向けて、いいところを見つけていきたいと思っている。地域のことでこれからもつながっていききたいのでよろしくお願いします。

(4) 図書委員会の取組（佐内教諭）

図書室に来てもらう取り組みで、今までとは違うものを考えている。6年生主導で、図書館や本屋さんからヒントを得ようと調べて提案した。本を選ぶのに苦勞をしている児童が多いことから、ヒントになる言葉を短冊に書いて、おみくじのように引いた本を探してもらう図書みくじを作っている。早く仕事が終わると、置いてある本が分かりやすいように、本の絵を描いて棚に表示を付けようと6年生が5年生をリードして活動していた。全校を巻き込んだ活動につなげていきたい。

(5) 校内別室指導（不登校支援）「ふわほかおうえんルーム」について（木村）

今年度4月からスタート。部屋にエアコンがついていないので、家庭科室に動いた冷風機を付けたりして対応している。時間のメリハリを付けて行動できるように、

したいことリスト（時間割）を自分で決めて取り組んでいる。オンラインの教材で、わからないときにはその場所の説明や問題ができるセットになっているデキタスというものも取り入れている。自己評価は、できた◎、やろうとした○で表している。担任の先生へメッセージを担当の先生が書いているので、担任も活動内容を把握している。ある児童は、前年度まったく登校できなかつたけれど、登校をして自分のペースでゆっくり学習に取り組めるようになってきた。またある児童は、デキタスや担任の先生が見てくれるので学習に参加できるようになり、算数少人数の授業は受けられるようになった。調理実習など、座学以外も取り入れて参加する児童が増えた。

校長から「スクールカウンセラーの教育相談について」説明会の報告

スクールカウンセラーの教育相談について、3月21日にスクールカウンセラーに関する情報漏洩について説明し、6月21日に改めて説明会を実施した。参加者は、保護者が8名、学運協2名、全教員。学運協からも参加していただいていたので、補足があれば。

岡田委員 保護者は8名しか参加していないので、全体としては区切りがついているのではないかと。

(6) 意見交換・情報共有（各委員）

秋間委員…写真については、外に出していいか保護者に一筆もらっている。ホームページに載せる有無。幼稚園では、手足口病が流行っている。木曜日に年長さんがお泊り保育をする。8月25日子どもど真ん中、永山駅前などでイベントをする。プールを暑い時でもできるように、カーテンやエアコンを上手く使って行っている。保護者の願いや時代にあった内容になるように考えている。

こぐま保育園園長様…夏の合宿を久しぶりに行った。児童館の目の前で、のぞいてもらった。じゃぶじゃぶプールを地域向けにも行った。子供たちにとって安全に遊べるように行っている。

榎原委員…8月25日多摩市の子供政策に関わる団体が集まってイベントを行う。ベルブの中も貸切るので涼みながら楽しんでほしい。6年生も児童館によく来ている。移動教室の楽しかった話を良くしている。いじめの件気になる。友達に嫌なことを言ってしまう。低学年で多いのは素直に話せるからではないか。表に出る分だ

けではない。何か子供の声を聴き取れる取り組みができないか考えている。

富岡委員…9月7日多摩市総合防災訓練。避難所の立ち上げ。16日永山小は体験型でできないか考えている。1月1日から地震があり関心も高い。トイレのことなど

人を育てること難しい。知識だけではなく人格を育てることには完璧なものがない。立ち止まることができるのがこの様な会なので必要だと思った。

PTA 会長岡田委員…PTA は今年度、保護者がどのように考えているのか聞き取り、さらに縮小するか、残していく取り組みはあるのかを話し合っていく。

太田委員…縮小しすぎて心配な部分もあった。今後の進み方について考えてくれて安心している。8月29日学校の校庭で花火大会があるので、今諸機関に連絡をして楽しい時間になるよう動いている。ぜひご参加ください。

3 次回について

第3回目

11月16日(土) 13:30~15:00 (学校公開・永山防災の日の午後)

議題

- 第1回学校評価アンケート結果報告
- 学力・学習状況調査の結果について
- ながリンピック(運動会)について
- 永山カラフル美術館(展覧会的な行事)について

※欠席する場合は、副校長に電話等で連絡をお願いします。